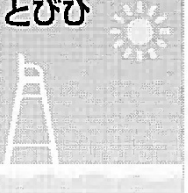


とびひ、みずいぼ…入っているの？

◆皮膚感染症とプールの利用

とびひ 	水に触れると症状を悪化させたり、うつしたりする恐れがあり、治るまで禁止 プールの利用 ×
みずいぼ	タオル、浮輪などでうつることがあり、共用はできるだけ避ける プールの利用 ○
頭じらみ	薬物治療開始後は問題ない。タオルや水泳帽などの貸し借りはやめる プールの利用 ○
かいせん 疥癬 (角化型は 除く)	薬物治療開始後は問題ない プールの利用 ○

皮膚科医会など作成

患は、タオルなど患部と接触する可能性のある物の共用を避けるなどの条件付きで、プールの利用は可能とした。

作成に関わった日本臨床皮膚科医会常任理事の林伸和・虎の門病院皮膚科部長は「それぞれの皮膚感染症の特徴を理解し、学校現場などで役立ててほしい」と話している。

学校プール利用に指針

夏が本格化するのを前に、日本臨床皮膚科医会と日本小児皮膚科学会は、とびひやみずいぼなど、子どもが皮膚感染症に感染した場合の学校や幼稚園、保育園でのプール利用に関する見解をまとめ、公表した。

学校保健安全法では、学校が

予防すべき感染症について感染力や重症度に応じて分類。感染拡大を防ぐために、出席停止や消毒などの処置を定めている。

だが、プール利用についての規定はなく、学校医などに判断が委ねられている。学校ごとに対処が異なり、学会へ問い合わせる例も少なくなかった。

このため両会は、プールの利用が増えるこれからの季節に向けて、子どもの感染が多い「とびひ」「みずいぼ」「頭じらみ」に加え、ダニの一種が寄生して起きる「疥癬」の四つの皮膚感染症への対応をまとめた。

とびひは水との接触で悪化する恐れがあり、治るまでプールの利用を禁止。残りの3疾患は、プール利用を